



iRidge



Digital Garage

報道機関各位

2016年3月28日

株式会社クレディセゾン

株式会社アイリッジ

株式会社デジタルガレージ

クレディセゾン、アイリッジに追加投資し
デジタルガレージとの三社連携を強化
スマホ向け O2O とブロックチェーンを活用した FinTech ソリューションを共同開発へ

株式会社クレディセゾン（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：林野宏 以下 クレディセゾン）は、出資先である株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田健太郎、以下 アイリッジ）の発行済み株式約 8.7%を追加取得し、同社の既存株主である株式会社デジタルガレージ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼グループ CEO：林郁、以下 デジタルガレージ）を含めた 3 社の業務連携をより一層強化することで、近い将来到来する世界的な金融イノベーションの時代に向けた FinTech ソリューションの共同開発を推進します。

アイリッジのスマートフォンを用いた O2O (online to offline) プラットフォームなどに代表されるスマホ総合ソリューション力と、デジタルガレージのオンライン決済事業および同社が推進するブロックチェーンを活用した決済などの研究開発、そしてクレディセゾンの顧客基盤やカード事業で培った決済ノウハウを組み合わせ、次世代の FinTech ソリューションを実現します。

なお、このような最先端技術の導入にあたっては、デジタルガレージが推進する研究開発活動である DG Lab(*)を活用し、同社の投資先でありブロックチェーン技術を有する Blockstream 社との連携を図ることでビットコインに代表される仮想通貨や、ブロックチェーン技術を積極的に取り込み、国際競争力を高めてまいります。

【クレディセゾンについて】 <http://www.saisoncard.co.jp/>

サービス先端企業として常に徹底した顧客志向を貫き、独自性の高い商品・サービスを提供しています。「セゾンカード」と「UCカード」の2つのブランドからなる3,500万人の顧客基盤を武器にさまざまな企業との連携を通じて、キャッシュレス社会の実現に向けて、カード利用シーンの拡大に努めています。

また、多種多様な提携パートナーと共に、カードビジネスに加え、ネットビジネスやファイナンスビジネス、海外ビジネスなど幅広く事業を展開しています。

【アイリッジについて】 <http://iridge.jp/>

株式会社アイリッジ（2008年設立）は、「インターネットを通じて、世の中に新しい価値を創り続けていく」という理念のもと、企業のO2O支援を行っています。当社のO2O支援はスマートフォンを利用したもので、①O2Oソリューション「popinfo(ポップインフォ)」の提供、②O2Oアプリの企画・開発、③集客・販促等を中心とした企画・運用支援（O2Oマーケティング）をサービスとして提供しており、O2Oやスマートフォン向け位置連動型サービスの分野では業界トップクラスの実績があります。

【デジタルガレージについて】 <http://www.garage.co.jp/>

デジタルガレージはインターネットサービスにおける投資・育成支援事業、マーケティング事業、グローバルオンライン決済事業の三つの事業に注力しています。1995年の設立以来、ポータルサイト、eコマース、インターネット広告代理事業、モバイルコミュニケーション事業、ブログやSNSなど、常にインターネットにおける最新技術をビジネスとして展開してきました。現在、新たな事業の柱を技術シーズから育てることを目的とした研究開発組織「DG Lab」(*)の設立準備を進めています。DG Labの研究テーマの一つとして「ブロックチェーン」を選びました。

<http://www.garage.co.jp/ja/ir/ceo/2016/02/160212.html>